

岩見沢市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年11月～26年3月)

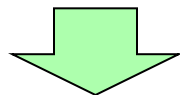
※ 期間延長適用後

【中心市街地を巡る状況】

○空知炭鉱地域の石炭輸送を支えた鉄道の要衝として栄えた「鉄道のまち」

○炭鉱の相次ぐ閉鎖により一旦は市内に人口が流入するも、札幌市等への流出、郊外大型店の立地による中心市街地の空洞化が進行

○ITを活用した行政サービス提供や遠隔教育機能等をもった施設設置(H9)を皮切りに駅周辺を中心としたIT産業の集積と雇用の創出に取組



○歩行者通行量

H16: 9,828人 → H19: 5,356人 (▲45%)

○居住人口

H10: 5,552人 → H19: 4,740人 (▲15%)

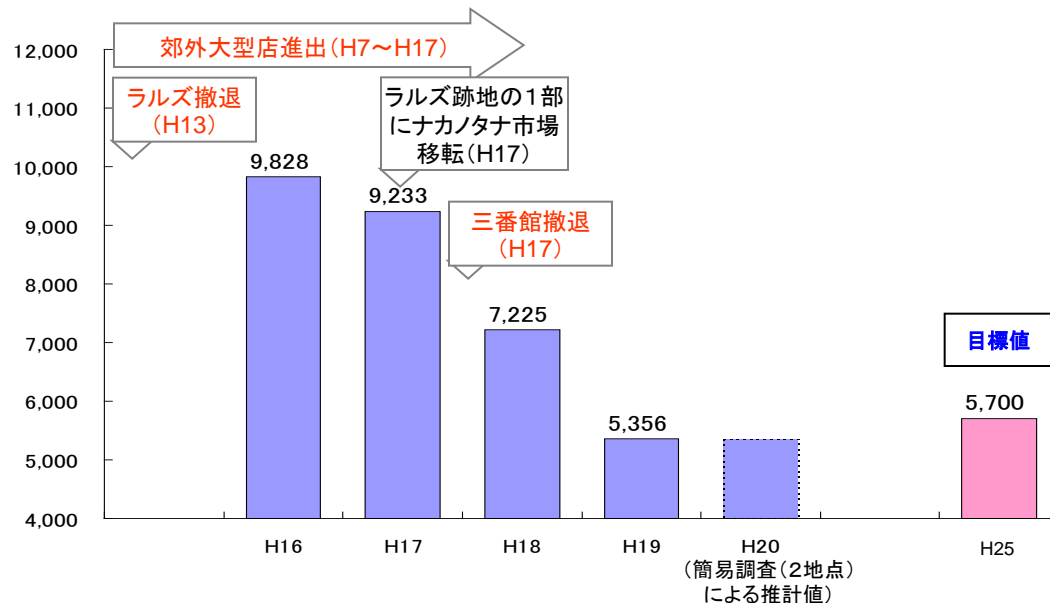
○従業者数

H8: 10,457人 → H18: 8,840人 (▲15%)

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H25)
まちなかの住まいを促進	居住人口	4,740人(H19)	5,000人
まちなか回遊の促進	歩行者通行量 (平日・4地点)	5,356人(H19)	5,700人
まちなか雇用の促進	従業者数	8,840人(H18)	8,900人

【歩行者通行量の動向と数値目標】

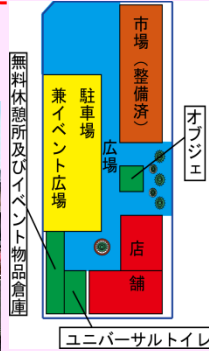
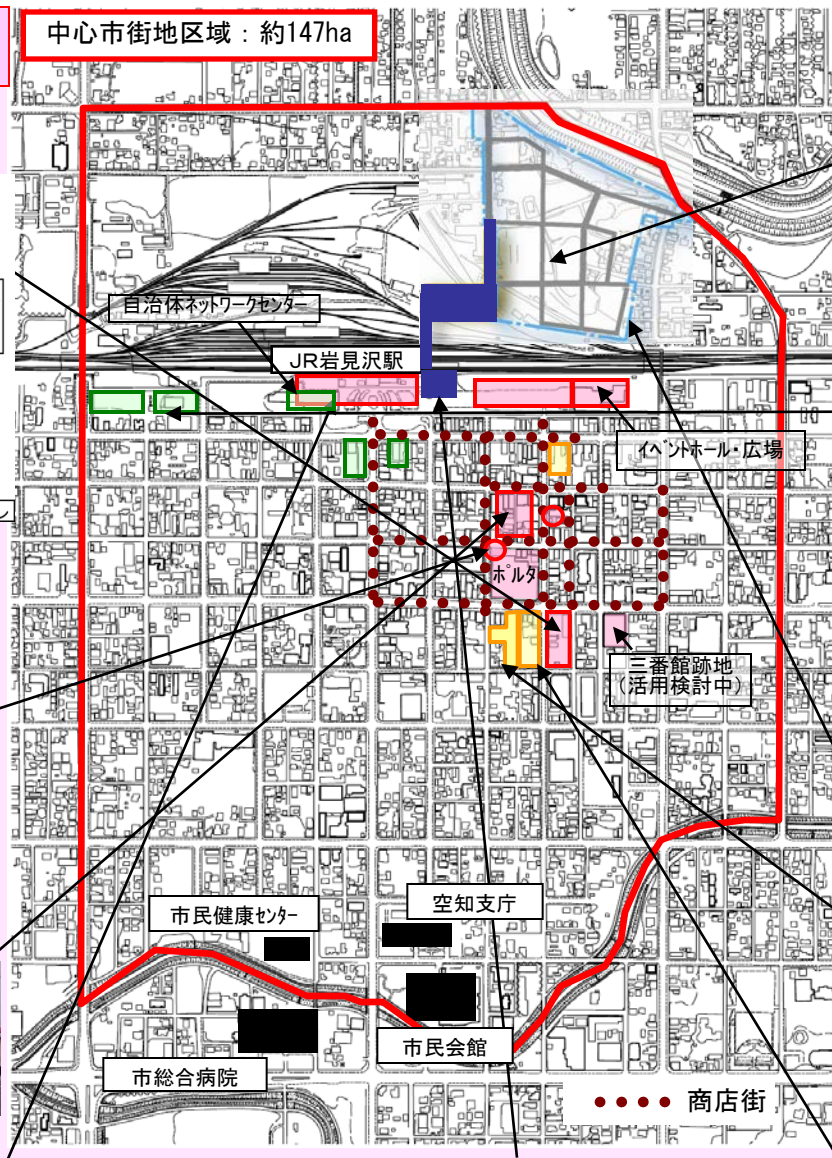


百貨店跡地を活用し、まちなかの老朽化した店舗の集中移転更新や集合住宅の整備等による賑わいの回復を目指すとともに、IT関連施設整備や企業誘致等によるまちなか雇用の促進を図る。

岩見沢市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなかの賑わい促進

中心市街地：約147ha



無料休憩所及びイベント物品倉庫

オフィス

自治体ネットワークセンター

JR岩見沢駅

イベントホール・広場

ホテル

三番館跡地
(活用検討中)

市民健康センター

空知支庁

市民会館

市総合病院

●●●● 商店街

- 撤退した百貨店(ラルズ)跡地に周辺の老朽化した商店街を集中移転し、新たな商業拠点として整備



- 商店街コンバージョン事業：空店舗を活用し、大学生のアトリエや高齢者向けサロン等へと転用



- (3・3地区)既存の建物を活かしつつ、小路や広場の整備、既存店舗の改修等により「横丁」的な空間を整備



- 駅舎を複合施設化し、市民サービスセンター、物産展示販売コーナー等を設置



- 区画整理による駅北地区の整備に併せ、有明連絡歩道の整備により、歩行者を駅北から中心市街地へ誘導



まちなか雇用の促進

- 土地区画整理事業区域内に、自社のサーバーを企業等に貸し出し、その保守・運用を行う「データセンター」を整備。また、それに伴うソフトウェア開発等IT関連企業を誘致
- 「新産業支援センター」及び「ITビジネスセンター」による起業支援を推進
- 「岩見沢市雇用創出計画」に基づく人材育成や、再開発や商店街コンバージョン等による新規事業所を整備



イメージ写真



ITビジネスセンター

まちなか居住促進

- 駅北土地区画整理事業による基盤整備と共に、市営住宅等の住宅供給を推進
- ラルズ跡地に移転した商店街跡地(4・3地区)再開発により、賃貸住宅やワークプラザ、音楽スタジオ等を整備
- シルバービレッジ(グループホームと介護付賃貸住宅)建設により、高齢者のまちなか居住を促進



4・3地区



イメージ写真